

ヘルムート
バーガー・リンダ
ブレアー・カーク
ダグラス
リチャード
ドレイファス・ヘレン
アンソニー
ホプキンス
バート
ランカスター・クリスチャン
エリザベス
マルカン・テーラー

victory at
ENTEBBE



あらゆる可能性が考えだされた——そして不可能が実行された!

エンテベの勝利

HELMUT
BERGER

LINDA
BLAIR

KIRK
DOUGLAS

RICHARD
DREYFUSS

HELEN
HAYES

ANTHONY
HOPKINS

BURT
LANCASTER

CHRISTIAN
MARQUAND


ELIZABETH
TAYLOR



デビッド・L・ウォルパー・プロダクション〈エンテベの勝利〉

共演■セオドル・バイケル／デビッド・グロー／ジェシカ・ウォルター

製作ロバート・ガーネット／監督マービン・チョムスキー／脚本アーネスト・キノイ／製作総指揮デビッド・L・ウォルパー／ワーナー・ブラザース映画

From Warner Bros.  A Warner Communications Company

12月25日(土) 正月《緊急》ロードショー

全世界が驚愕した20世紀最大の事件!—人質104人の生命は!? 巨大な危機を衝いて決行された世紀の救出作戦!

***特別鑑賞券1000円発売中!**
■上映時間 (当日一般1300円/大学1100円の処)

東急レックス (407) 7019

連日 11:00 1:30 4:10 6:50

●月曜日のみ1:30の回にて終了

渋谷東急文化会館地階

エンテベの勝利



*解説

1976年6月27日、日曜日テルアビブ発パリ行のエア・フランス機139便がハイジャックされた。乗客245人。139便はウガンダのエンテベ空港に着陸し、人質と交換に53人のテロリストの釈放を要求した。

ここにイスラエル情報機関のファイルに「サンダーボルト(雷鳴)」という名前で記録されることになる1週間、全世界が注目した1976年6月27日から7月4日までの嵐のような8日間が始まった。

そして歴史上類をみないイスラエル軍による世紀の人質救出・電撃作戦は、その見事さとドラマチックなまでの大成功で、世界中の人々に感動を与えた。この事件はすぐに映画会社の注目を浴び、ワーナー映画をはじめ6社もが製作発表をし、再び話題をまいた。

そのトップを飾るワーナー映画では、事件後すぐにテッド・アシュレー会長自らが乗りだし、イスラエルの独占協力を得ることに成功。15大スターと巨額の製作費をつぎ込み、エンテベ事件の本命版「エンテベの勝利」を完成させた。

主演はヘルムート・パーガー、リンダ・ブレアー、カーク・ダグラス、リチャード・ドレイファス、ヘレン・ヘイズ、アンソニー・ホプキンス、パート・ランカスター、クリスチャン・マルカン、エリザベス・テラー(アルファベット順)等の超豪華スターをはじめとする、一流国際スター15人が競演。白熱の演技のぶつかり合いも見ものの一つだ。

監督は「ガン・スモーク」などTV界に数々の業績を残し、ヒット作創りのプロと異名をとる大物で、今や世界の映画界がひっぱり出しにやっきとなっている話題の監督マービン・チョムスキー。脚本アーネスト・キノイ。製作ロバート・ガネット。製作総指揮デビッド・L・ウォルパー。

ワーナー映画が総力を結集した超大型の娯楽巨篇である。(上映時間2時間19分)

*ストーリー

テルアビブ発パリ行のエア・フランス機の機内はほぼ満席に近い混雑でにぎわっていた。16才になるハナ・ビルノフスキー(リンダ・ブレアー)は初めての一人旅に心はずませていたし、息子のベンジャミン(デビッド・グロー)と共にパリへ行こうとしていたワイズ夫人(ヘレン・ヘイズ)にとっても楽しいはずの旅だった。だが夫人には、アテネから乗り込んで来た女性連れのドイツ人(ヘルムート・パーガー)と2人のアラブ人が、妙に気になって仕方がなかった。

夫人の予感はずかぬアテネを発った30分後に現実となって、乗客を恐怖のどん底へと叩き込んだ。ハイジャックだ。4人の男女はPFLP(パレスチナ解放人民戦線)の闘士で、PFLPの計画に基づいて行動していた。犯人たちは手に手に拳銃や手榴弾を持ち、機内を動き回っていた。そしてデューカス機長(クリスチャン・マルカン)に行き先を告げた。

首相官邸での閣議中にこのニュースを聞いたラビン首相(アンソニー・ホプキンス)は、閣議を散会するとパレス国防相(パート・ランカスター)を中心とする、腹心の5人の閣僚を残し、そこにグル参謀長(スチーブ・ギーラッシュ)を加えて対策を討議した。

イスラエル政府の方針は決してテロリストたちの脅迫に屈してはならないということだった。

ハイジャック機はベンガジで給油をすますと、妊娠1人を釈放して再び飛び去った。ハナの父ハーシェル(カーク・ダグラス)と母エドラ(エリザベス・テラー)たちの心配もつるばかりだった。やがて、機はエンテベ空港に着いたというニュースが首脳部のもとに届けられた。イスラエルから3800キロも南にあるアフリカのド真中だ。

エンテベでロビーに移された乗客たちは、ウガンダ大統領イディ・アミン(ジュリアス・ハリス)の挨拶を受けた。アミンが犯人たちとの仲介役を務めるという事であったが、あまり期待はできそうになかった。さらにまづい事には、エンテベには犯人たちよりもさらに階級の高いテロリストたちが3人も待機しており、犯人たちと合流したことだった。

ラビン首相とパレス国防相はひそかに武力による人質奪還の計画を進めていた。その可能性、そして危険度については、パレスとジョナサン・ネタニアフ中佐(リチャード・ドレイファス)の間で検討が重ねられた。ジョナサンは、部下たちにヨニ(剣と聖書を持った男)と呼ばれて尊敬されているイスラエル軍はえぬきの勇者で、救出作戦の隊長に任命されていた。2人は多少の危険は覚悟の上で合意に達すると、早速エンテベ空港そっくりの飛行場を急造した。そしてダン・ショムロン准将(ハリス・ユーリン)を司令官として精鋭150人の訓練を開始した。訓練は主に夜間の飛行機の離着陸と、作戦行動の迅速化に費やされた。

犯人たちの要求が示された。イスラエルをはじめ各国に収容されている同志53人の釈放がそれである。期限が迫るにつれ、人質となっている人々の家族の危惧も高まってきた。

遂に作戦は開始された。ヨニ中佐ら特別攻撃隊を乗せたC130ハーキュリーズ2機は深夜のエンテベ空港に着陸した。一糸乱れぬ電撃的攻撃であった。150人にも及ぶイスラエル突撃隊の死者は最も重い責任と危険に身をもって挑んだヨニ中佐ただ1人。残された人質104人を、わずか3名の犠牲者をだただけで救い出したのだ。人質を救出した後、突撃隊の一隊がウガンダ空軍機に壊滅的打撃を与えて、炎の海と化したエンテベ空港を飛び去るまで90分。人質救出だけをみれば、わずか53分間で作戦を完了したのだ。まさしく歴史上に類をみない、輝やかな救出作戦であった。

ただ1人、ワイズ夫人だけは悲劇の人だった。具合が悪くカンパラの病院に移されていたために残されてしまったのである。夫人は翌日ウガンダの秘密警察の手によって殺害されたと伝えられた。

